

研究機関で雇用する特別研究員-PD等の育成方針

1. 研究指導の充実

PDに対して適切な研究指導を行うため、PDと指導者とのコミュニケーションを強化する。定期的な進捗報告やフィードバックの提供、共同研究や他大学研究者との交流の機会提供など、PDの研究能力向上を支援する取り組みを実施する。

2. 教育能力等の向上

研究に加えて、PDのキャリア形成に資する全学的もしくは所属部所で実施されるFD研修会、大学職員全体を対象とした講演会や研修会等の教育能力等向上に資する機会を提供する。

3. 研究環境の整備

PDが高度な研究を行うことができるよう、研究設備や、データベースへのアクセス、研究資金の提供などの研究環境の整備を行う。

4. 働きやすい労働環境の提供

多様な人材が活躍できる環境を提供するとともに、出産や育児に関する支援策については、大学教職員と同等の環境を整備する。

5. 多様な活躍の機会と環境の提供

高度な専門性と研究力を持つPDが社会の多様な場で活躍できるよう、国内外の研究機関や産業界との連携に関する情報を提供し、アイデアや研究成果を社会実装しやすい環境を提供する。

以上